

## 三菱電機（株）製変圧器等の不適切行為について

### 1. はじめに

2022年4月21日に三菱電機(株)の一部変圧器において、製作時の工場試験における不適切行為があったことが公表された。

更に、5月25日、不適切行為に関する調査報告書（第3報）が公表され、一部の変圧器および遮断器において、製作時の工場試験における不適切行為等が、新たに確認されたとの報告を受けた。

### 2. 当社における不適切行為の対象設備及びその内容

三菱電機(株)より以下のとおり報告を受けた。

#### 【対象設備】

川内1号機主変圧器

#### 【不適切行為内容】

温度上昇試験において、実測値と異なる値を試験成績書へ記載していた。

試験成績書において、実測値と異なる値を記載していたが、実測値は電気規格調査会標準規格（以下、JEC）を満足している。

#### 【対象設備】

川内2号機主変圧器

#### 【不適切行為内容】

耐電圧試験（交流耐電圧試験）において、JECの要求を一部満足していなかったにも関わらず、成績書には満足した内容を記載していた。

原子力発電工作物に係る電気設備の技術基準（以下、原電技）の要求を満足している。

なお、川内起動変圧器、玄海1号機主変圧器、玄海1号機所内変圧器、玄海2号機主変圧器、玄海2号機所内変圧器についても、不適切行為の対象であるが、いずれも現在は使用していない。

## 【対象設備】

発電機車の真空遮断器（詳細は以下のとおり）。

	玄海 1, 2 号機	玄海 3, 4 号機	川内 1, 2 号機
大容量空冷式発電機	2 台	2 台	2 台
中容量発電機車	—	2 台	2 台
高圧発電機車	2 台	4 台	4 台
緊急時対策所用発電機車	—	—	3 台

## 【内容】

遮断器の工場検査成績書には、交流電圧と直流電圧の両条件を記載しているが、規格要求では交流電圧と直流電圧のいずれかで試験すれば良く、実際の工場出荷試験は直流電圧で試験を実施していたことから、成績書が誤解を与えるような記載となっていたというものである。

### 3. 当社原子力発電所への影響について

川内 1 号機主変圧器および川内 2 号機主変圧器ともに、原電技の要求を満足した製品が納入されている。

また、当該変圧器については、据付時に試験を実施しており、定期的な点検時においても、機能に問題ないことを確認している。

さらに、至近で実施した変圧器内部の油の分析において、異常がないことを確認しており、変圧器の機能性能に問題はないと判断している。

真空遮断器については、不適切行為ではなく、成績書の記載に係る調査委員会からの指摘であり、規格に基づき試験が実施されているため、遮断器の機能性能に問題はないと判断している。

これらを踏まえ、当社原子力発電所の運転に影響はないと判断する。

### 4. その他

川内 1 号機主変圧器および川内 2 号機主変圧器については、今後三菱電機に立入り、確認を行う予定である。

以 上